

第31回林忠彦賞

Hayashi Tadahiko Award

作品募集

2022年 12月31日(土)必着!!

社会は心を撃つ写真をさがしています

Who is the next?



第30回(前回)受賞作「東京 二〇二〇、二〇二一。」初沢 亜利

時代を物語る写真を撮り続けた林忠彦。
林の精神を継承し、未来を切り開く
写真家を見いだすことを目的に募集します。

【賞】

ブロンズ像(菅戸千津子作「爽」)及び賞金100万円

【選考委員】

大石 芳野 写真家
笠原美智子 (公財)石橋財団アーティゾン美術館副館長
河野 和典 (公社)日本写真協会出版広報委員
小林 紀晴 写真家
有田 順一 周南市美術博物館館長 (敬称略・五十音順)



林 忠彦(1918～1990)

山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真家協会の母体となる「写真家集団」発足に参加、秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。

■新型コロナウイルス感染拡大など、今後の状況によっては変更等も考えられます。最新の情報はホームページでご確認ください。

主催 / 公益財団法人周南市文化振興財団 共催 / KRY山口放送 後援 / 読売新聞社 協力 / 富士フイルム株式会社

第31回 林忠彦賞 ー 作品募集 ー

林忠彦は戦後、焼け跡の中から「太宰治」「坂口安吾」など無頼派の生の群像をとらえ世に出て以来、「日本の作家」「カストリ時代」「東海道」などわが国の写真史に残る重厚な作品を次々に発表、生涯にわたって新しい写真表現に挑み続けました。時代を物語る写真、それこそが林忠彦の写真でした。林忠彦賞は時代とともに歩む賞です。林忠彦の精神を継承し、未来を切り開く写真家を見いだすことを目的に、林忠彦賞はさらなる高みにむかって歩み続けていきます。

募集要項

資格：国内居住であれば、アマチュア、プロ、年齢、性別、国籍を問いません。

テーマ：自由

対象：2022年(1月1日～12月31日)に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表された作品。
受賞記念写真展を開催する関係上、同一テーマで35枚以上から70枚程度までの写真で構成された作品。

【お送りいただくもの】

1. 応募用紙

- 下記の応募用紙に、住所・氏名・略歴等を明記し、制作の主旨を400字以内にまとめてお送りください(自作可。A4サイズ)。

2. 作品

【写真展】での応募

- 「プリント」もしくは同作品の「写真集」をお送りください。

プリントの場合

- サイズ：六ツ切～四ツ切まで(インクジェットプリント可)
- 写真展で展示した作品をお送りください(展示していない作品は対象外。再プリント可)。
- 裏面に番号を明記し、作品保護のためファイリングしてご応募ください。

写真集の場合

- 展示した作品がわかるように明記してください。
- 「写真展」の会場内に置いていたポートフォリオなどは、展示作品として含めることができます。
- 巡回展示や会期中展示替えがあった場合は、該当プリントがわかるように明記してください。
- 発表時期や状況が分かる資料を添付してください(写真展の案内ハガキ・展示風景の写真など)。

【写真集】での応募

- 「写真集」をお送りください。プリントは不要です。

【雑誌】「公募」などでの応募

- 「掲載誌」か「プリント」もしくは「写真集」をお送りください。
※いずれの場合も発表した作品(同一テーマ)がわかるよう明記し、発表状況がわかる資料(募集要項・チラシなど)を添付してください(発表していない作品は対象外)。

プリントの場合

- 「写真展での応募」のプリントと同じ(再プリント可)。

【選考委員】

大石 芳野 写真家
笠原美智子 (公財)石橋財団アーティゾン美術館副館長
河野 和典 (公社)日本写真協会出版広報委員
小林 紀晴 写真家
有田 順一 周南市美術博物館館長
(敬称略・五十音順)

【締切】2022年(令和4年)12月31日(土) 必着

【賞】ブロンズ像(笹戸千津子作「爽」)
及び賞金100万円

【選考発表】

選考後、受賞者に通知するとともに各報道機関に発表します。(2023年3月上旬予定)
授賞式は東京で行い、東京と山口県周南市において受賞記念写真展を開催します。
受賞作品は、銀塩ペーパー・小全紙サイズで再制作し、林忠彦コレクションとして周南市美術博物館に永久保存します。

【作品の返却】

応募作品の返却をご希望の方は応募用紙に明記してください。返却方法は、受取人着払いの宅配便となります。ただし、最終候補作品については、資料として作品をご提供いただく場合があります。
※作品は慎重に取り扱いますが、不慮または不可抗力による汚損等については責任を負いかねます。

【その他】

- ご記入いただいた個人情報、林忠彦賞に関する業務以外には使用しません。
- 募集要項で規定した以外の作品については選考の対象外となります。
- 肖像や著作物など、他人が権利を有するものを利用した応募作品については、事前に使用許諾承認を得てください。
- 第三者から権利侵害などの異議申し立てがあった場合は、応募者による対応となります。
- 応募作品、審査結果に関するお問い合わせには応じられません。
- 募集要項に反すると主催者が判断した場合、発表後であっても受賞取消等の措置を取ることがあります。
- 受賞作品は、印刷物、放送媒体、インターネット等での使用を承諾していただきます。
- 新型コロナウイルスの状況により、授賞式、写真展が変更等となる場合があります。
- 受賞者は、受賞後、林忠彦賞の運営事業にご協力いただくこととなります。

【応募・問合せ先】

林忠彦賞事務局 〒745-0006 山口県周南市花島町10-16
(周南市美術博物館) TEL 0834-22-8880 FAX 0834-22-8886

募集要項・歴代受賞作品など詳しくはホームページをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

<http://hayashi-award.com/>



主催/公益財団法人周南市文化振興財団

第31回 林忠彦賞 応募用紙

この用紙に書ききれない場合は、別紙に記入し作品に添付してください。(A4サイズ)

フリガナ	生年月日	男・女	勤務先・学校名・職業
氏名	西暦 年 月 日 (明・大 年) (昭・平)	歳	
フリガナ	連絡先(携帯など速やかに連絡が取れるもの)		
〒()			
住所	都道 府県	メールアドレス	
略歴			

フリガナ	会期	発行日
タイトル	西暦 年 月 日～ 年 月 日	雑誌 西暦 年 月 日 誌名
プリント枚数 ※写真集、雑誌等の場合は カット数	会場	発表日または展示会期 西暦 年 月 日
作品の返却 (○で囲んでください)	A. 返却を希望する(着払いの宅配便)	公募 西暦 年 月 日 コンテスト名
	B. 返却を希望しない	他

主旨